

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会  
2003年度第2回常任幹事会議事要録

日時：2003年12月2日（火）14時～16時10分

場所：南山大学 名古屋キャンパス 図書館1階会議室

出席：金城学院大学（鈴木 卓美）、椋山女学園大学（北出 幸夫）、

大同工業大学（神谷 登司雄）、中京大学（中河原 省三、村上 康廣）、

愛知大学（三浦 文博）、

南山大学（大森 正樹、栗山 義久、上田 義彦、石井 知好） 敬称略

議事に先立ち、理事校南山大学図書館長（大森）より開会の挨拶、および出席者の自己紹介が行われた。慣例により議事の進行は理事校南山大学図書館長（大森）が担当し、下記の議題を協議した。

1. 報告事項（第1回常任幹事会〔5月9日〕以降の経過について）

（1）東海地区協議会・西地区部会・私立大学図書館協会関係

理事校南山大学（栗山）より資料（p.1-24）に基づき、標記報告が行なわれた。

主な点は次のとおりである。

1）私立大学図書館協会総会において西地区関係では10校の加盟と1校の脱退が承認された。総会直前に京都地区から1校（畿央大学）の加盟申込みがあり、既に活動を行なっているが、次年度の総会で諮ることとなった。また、永年勤続表彰のあり方について問題提起されたが、会長校（早稲田大学）に一任することとなった。

2）国公私大学図書館協力委員会において『図書館相互協力便覧』の改訂は平成16年4月1日のデータで紙媒体の発行とすることが承認された。また、ILL料金相殺制度について私立大学加盟館から寄せられた意見は、今後NIIホームページで示していきたいとの報告があった。

（2）協会賞審査委員会・研究助成委員会

協会賞審査委員会・研究助成委員会委員金城学院大学（鈴木）より、標記委員会は3月4日に開催予定であるとの報告が行なわれた。

（3）国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員中京大学（中河原）より、資料（p.25）に基づき、標記委員会が3回行なわれた。また、寄贈資料運搬事業、海外集合研修、海外派遣研修、国際図書館協力シンポジウムが無事終了したとの報告があった。併せて、次年度の国際図書館協力シンポジウムは2004年5月14日（金）東海大学湘南キャンパスで行なわれる予定であるとの報告があった。

（4）協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員会委員南山大学（石井）より、資料（p.26）に基づき、

標記委員会が3回、また西地区部会連絡会議が1回行なわれ、CGI等の利用について運用が決まったこと、メーリングリストの添付ファイルの容量問題は継続で協議を行なっているなどの報告があった。

(5) 東海地区協議会研究会

研究会幹事校大同工業大学(神谷)より、資料(p.27-30)に基づき、標記研究会が4回、運営委員会が6回行なわれたとの報告があった。また、研究集会は講演と3つ発表が行なわれ、無事終了したとの報告があった。

(6) 東海地区協議会相互協力委員会

相互協力委員会委員長校金城学院大学(鈴木)より、資料(別紙当日資料)に基づき、標記委員会が4回行なわれた。また情報化委員会との合同委員会を同日に行い、それぞれの委員会で実施していたアンケートを合同で行なったなどの報告があった。併せて、9月末からデータベース共同トライアルを行い、11月12日にはデータベース合同説明会が行なわれ、20大学34名8業者の参加があったとの報告があった。

(7) 東海地区協議会情報化委員会

情報化委員会委員長校愛知大学(三浦)より、資料(別紙当日資料)に基づき、標記委員会が4回行なわれた。また相互協力委員会との合同委員会を同日に行ない、昨年度までは同委員会で行なっていたシステム・ネットワーク情報交換会を今年度は合同で実施するなどの報告があった。

(8) 東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議

図書館管理・運営実務責任者会議委員長校南山大学(上田)より、資料(p.31-32)に基づき、「図書館コンソーシアム」「図書館業務アウトソーシング」をテーマに標記会議が2回行なわれたとの報告があった。併せて運営委員会も2回行なわれたとの報告があった。

(9) 東海地区大学図書館協議会について

東海地区大学図書館協議会運営委員長校金城学院大学(鈴木)より、資料(別紙当日資料)に基づき、10月8日に行なわれた標記委員会において今年度の研究会の日程が確定したとの報告があった。

## 2. 協議事項

(1) 2011(平成23)年度以降の東海地区協議会理事校について

理事校南山大学(栗山)より、資料(p.33-35)に基づき、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学から2011・2012年度の理事校担当の内諾を得たので、来年度の総会に諮りたい、それに伴い同大学が2010・2011年度に予定していた研究会幹事校、および東海地区大学図書館協議会運営委員長校を名古屋学院大学に変更したいとの提案があり、承認された。また、2012年度をもって理事校の担当が一巡することから2013・2014年度以降の理事校担当について、現行の原則に則ったローテーション案が提案された。審議の結果、来年度の総会

に問題提起をし、意見を広く聞くこととした。主な意見は次のとおりである。

- ・原則だけ決めて臨機応変に対応すればよい。
- ・理事校だけでなく、研究会の当番校、私立大学図書館協会会長校、西地区部会長校の選出原則も必要ではないだろうか。
- ・理事校の担当原則も再考する必要があるのではないか。
- ・理事校の担当校は研究会の当番校のローテーションからはずしてもいいのではないか。

(2) 西地区部会における次期国際図書館協力委員の選出・交代ルールについて

理事校南山大学(栗山)より資料(p.36)に基づき、今期より西地区部会から指名により3名(東海・京都・阪神の各地区から1名づつ)選出している標記委員について、西地区部会第2回役員会で話題になったとの報告があった。また、国際図書館協力委員会委員中京大学(中河原)より、資料に基づき、2002年第5回の標記委員会にて担当校のルール案について協議されたとの報告があった。この件については東西合同役員会において、審議されていないが、東海地区協議会として、西地区部会、および東海地区の選出ルールを決定したいとの提案があり、西地区部会の選出ルールは国際図書館協力委員会の依頼を受けた後、西地区部会長校(南山)が案を作成し西地区部会役員会に提案する。東海地区協議会のルールは2002年第5回の標記委員会で明示された5大学(中京・南山・名城・愛知・愛知学院)でのローテーション案に他大学も含めた案を作成することとなった。

(3) 東海地区協議会におけるE-Mailの活用について

理事校南山大学(栗山)より資料(p.37-38)に基づき、現在東海地区協議会加盟館のメーリングリストがないので、今後、理事校、研究会幹事校、各委員会・会議からのスムーズな情報伝達と事務処理の軽減のため協議会加盟館全体のメーリングリストを設け、これを次年度総会において提案したいとの報告があり、承認された。

(4) 東海地区協議会ホームページの更新に係るソフトウェアの購入について

情報化委員会委員長愛知大学(三浦)より資料に基づき、東海地区協議会の作成・更新に係る作業負担の軽減とフォーマットの統一を図るため、ソフトウェア購入の願い書が提出された。理事校南山大学(栗山)より、この願い書を受けて、予備費で購入したいとの提案があり、承認された。

### 3. その他

(1) 東海地区協議会および関連団体2003-2004年度行事予定表について

理事校南山大学(栗山)より、資料(p.39)に基づき、東海地区協議会・西地区部会・協会の本日以降の2003年度行事、および2004年度の行事について説明があった。

以上